

地方創生関連交付金関連事業の取組状況について

目次

1	地方創生推進交付金事業	
(1)	おいでませ！山口広域観光地域づくり推進事業	1
(2)	明治150年を契機とした観光目的地及び産業創出事業	2
(3)	M i n e 秋吉台ジオパークでつなぐサステナブルシティ	3
(4)	美祢社会復帰促進センターを活用した地域共生プロジェクト	4
2	地方創生拠点整備交付金事業	
(1)	道の駅「おふく」を拠点とした地域経済活性化事業	5
3	地方創生加速化交付金	
(1)	山口観光維新 DMO 推進事業	6
(2)	美祢市共に生きるまち推進事業（生涯活躍のまち推進事業）	7

具体的施策	1-1-1 共生への意識醸成			
内容	美祢社会復帰促進センターのセンター生の社会復帰への支援及び総合支援学校生の就労支援などを行い、地域・企業で受け入れにつながる意識づくりを行います。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H31)
	美祢社会復帰促進センターでの作業・職業訓練に関わる市内企業の数	8企業(H26)	7企業	10企業
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け 平成28年度に 取り組んだ 事業の概要	刑務作業等への市内企業の参入支援	—		
	センター生の就労体験の機会の提供と労働力の活用	—		
	センター生の社会復帰に向けた支援環境づくり	美祢市社会復帰促進センター地域共生まちづくり推進協議会の開催(4回の会議を開催) 矯正展への共催参加(28年度から共催。物的・人的支援を拡充)		
	総合支援学校生の就労支援体制づくり	ケース会議に出席し、関係機関と連携を図ることにより、情報共有を行う。		
平成29年度以降の 取組内容と その理由	刑務作業等への市内企業の参入支援	美祢社会復帰促進センターへの関心を高め、新たな参入を実現させるため、市内企業への情報提供を積極的に行う。		
	センター生の就労体験の機会の提供と労働力の活用	基本構想、実施計画を策定し、新たな雇用の場を創出する。		
	センター生の社会復帰に向けた支援環境づくり	平成28年度を取組を継続し、講演会の開催など、市民・市内企業向けの啓発活動を充実させる。		
	総合支援学校生の就労支援体制づくり	関係機関と連携を図り、情報共有を行う。企業に対して障害等の特性を理解してもらうための研修会等を実施する。		

具体的施策	1-1-2 起業・事業所誘致の推進			
内容	新たな雇用を生み出す企業の誘致の促進や起業への支援を行うとともに、商店街の魅力・活力向上、産業の維持を図る活性化支援を行います。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H31)
	誘致・進出企業数	2社(H25)	進出協定締結数 平成28年度 1社 平成29年度 1社	2社 (5年間累計)
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け 平成28年度に 取り組んだ 事業の概要	空き店舗の活用、家賃、 店舗改修の助成	平成22年度から対象区域を拡大しながら、美祢あきない活性化応援事業を実施 平成28年度の実施状況は、改修費補助については5件(2,173千円)、家賃補助については5件(614千円)で合計10件(2,787千円)		
	企業の誘致活動・訪問活 動の実施	市内の工業団地の販売、遊休地の解消に向けて継続的に訪問活動を実施		
	中小企業制度融資等によ る資金支援の充実	既存の2つの融資制度を統合し、平成28年度から新たに「美祢がんばる企業応援資金融資事業」を創設し、平成28年度において11 件の融資を行い、保証料補給補助(1,827千円)、預託(13,195千円)をそれぞれ実施		
平成29年度以降の 取組内容と その理由	空き店舗の活用、家賃、 店舗改修の助成	平成28年度に引き続き、同様の取組を実施(予算規模は総額350万円)		
	企業の誘致活動・訪問活 動の実施	従前の活動の継続の結果、1社が5月に操業開始、1社が7月進出協定を締結。これにより、美祢テクノパーク以外の工業団地が完 売。しかしながら、未だ企業進出が実現されていない用地の所有者に対し、工場等の誘致や有効活用について照会。 また、一部の私有地について引き合い中。		
	中小企業制度融資等によ る資金支援の充実	前年度に引き続き、美祢がんばる企業応援資金融資事業を継続して実施		

具体的施策	1-1-3 地元企業の活性化・人材育成への支援			
内容	高校生・大学生・求職者に地元企業の魅力を伝え、就職と定住を促す雇用安定化への支援を行います。また、地元企業のさらなる発展をサポートする人材育成の支援を行います。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H31)
	市内企業の合同会社説明会の開催回数	-	4回	4回(累計)
	市内の高校の卒業生の美祢市への就職率	22.7% (H25)	19.7% (H28年度卒業生)	30%
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け 平成28年度に 取り組んだ 事業の概要	市内事業所の雇用安定化確保(求職者向け相談窓口、人材育成等)	美祢勤労者総合福祉センター(サンワーク美祢)内に職業相談室を設置(業務委託)し、人材・企業育成事業として職業相談事業・カウンセリング事業や人材育成講座開設事業等を実施		
	市内企業の合同就職説明会の開催支援	ハローワークが市商工労働課と就職相談室の支援を受けて平成28年12月から合同就職面接会を実施。開催は月1回で、毎月第4水曜日		
	市内企業への就業体験(インターンシップ)の支援	就職相談室が実施する人材・企業育成事業として実施。平成28年度中、延べ5日間開催され6人が参加		
	事業後継者育成(事業継承・企業等)に対する支援	平成27年12月、市内金融機関、美祢市商工会、美祢市によって構成された美祢市創業支援協議会の起業・創業促進の取組の中で実施		
	商店街活カアップへの支援	商店街活カアップ支援事業において、秋芳洞商店会が、平成29年1月11日から3月26日に開催された秋芳洞商店会にぎわい創出事業に対して財政的支援。(345千円)		
平成29年度以降の 取組内容と その理由	市内事業所の雇用安定化確保(求職者向け相談窓口、人材育成等)	美祢勤労者総合福祉センター(サンワーク美祢)内に職業相談室を設置(業務委託)し、人材・企業育成事業として職業相談事業・カウンセリング事業や人材育成講座開設事業等を実施		
	市内企業の合同就職説明会の開催支援	ハローワークが、市商工労働課と就職相談室の協力のもとに開催する面接会を、前年度と同様月に1回、毎月第4水曜日に実施。現在まで、6回開催		
	市内企業への就業体験(インターンシップ)の支援	就職相談室が実施する人材・企業育成事業として実施		
	事業後継者育成(事業継承・企業等)に対する支援	平成27年12月、市内金融機関、美祢市商工会、美祢市によって構成された美祢市創業支援協議会の起業・創業促進の取組の中で実施。しかしながら、企業側から事業継承に関する情報提供は、全国的にも困難な状況にあることを踏まえ、今後、中小機構中国本部や山口県事業引継ぎ支援センター等との連携を深めながら、企業からの情報提供について協力依頼を実施		
	商店街活カアップへの支援	今年度も引き続き、秋芳洞商店会に対して財政的支援を実施。予算総額210万円。当該事業における秋芳洞商店会への財政的支援は平成29年度を以て終了		

具体的施策	1-2-1 秋吉台を核とした感動できる観光地づくり			
内容	本市の特性・環境、ジオパークを最大限活かしたイベント等の実施と心地よいおもてなしを実践し、リピーターの増加につなげます。こうして交流人口の増加を促し、消費活動や関連産業へ刺激を与え、活性化につなげます。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H31)
	観光客のリピーター率	26.9%	51.5% (H28年度)	35.0%
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け 平成28年度に 取り組んだ 事業の概要	イベント開催の支援	美祢市観光振興推進事業補助金交付要綱に基づき、秋吉台観光まつりなど各種イベント実行委員会へ補助金を交付し、イベントを通じて誘客の促進を図った。		
	イベント応援隊の創設	Mine観光地域づくり応援隊を創設し、隊員の公募を実施		
	ガイド(ジオガイド含む)の養成	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオマスター講座の開催(3回、延べ112人) ・認定ジオガイドスキルアップ講座の開催(6回、延べ68人) 		
	国内のジオパークとの連携による観光客の誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・九州ジオパーク教育交流事業の開催(86人) ・第9回日本ジオパークネットワーク全国研修会の開催(120人) 		
平成29年度以降の 取組内容と その理由	イベント開催支援	美祢市観光振興推進事業補助金交付要綱に基づき、各種イベント実行委員会へ補助金を交付し、イベントを通じて誘客の促進を図る。		
	イベント応援隊の創設	Mine観光地域づくり応援隊によるイベントのサポートの実施。今後も引き続き実施予定		
	ガイド(ジオガイド含む)の養成	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオマスター講座により認定ガイドを増やしいつでもガイドできるようにする。 ・ジオガイド研修会によりガイドのスキルアップを図る。 		
	国内のジオパークとの連携による観光客の誘致	<ul style="list-style-type: none"> ・国際シンポジウムの開催(平成29年3月) 		

具体的施策	1-2-2 グローバル観光戦略の推進			
内容	外国人観光客の心を掴む観光戦略を構築し、本市をPRすることで、外国人観光客の増加を目指し、関連産業へ刺激を与えます。さらに、本市の良さの理解と満足度につながる外国人に対応できるガイドの確保・養成を行います。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H31)
	外国人観光客数	38,039人 (H25)	56,337人 (H28)	70,000人
	外国語対応のガイドの数	0人	0人	3人
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け 平成28年度に 取り組んだ 事業の概要	外国人を魅了するテーマ別観光ルートの作成、体験プログラム開発	3市連携で作成したサイクリングマップを翻訳し、サイクリストへのアプローチを行うとともに、観光映像の作成を実施		
	台北観光・交流事務所を核とした東アジア地域からの観光客誘致	台湾から山口県へのチャーター便を誘致するなど、積極的に企業回りを行うことで、観光客誘致を図った。		
	外国語対応のガイドの養成	音声、携帯アプリ(端末機器)、紙媒体による多言語対応のガイドに順次対応している。		
平成29年度以降の 取組内容と その理由	外国人を魅了するテーマ別観光ルートの作成、体験プログラム開発	観光VRコンテンツを構築することで、観光地訪問の疑似体験をしていただき、効果的にアプローチできる仕組みを構築		
	台北観光・交流事務所を核とした東アジア地域からの観光客誘致	東アジア地域において、台湾、韓国、タイなどをターゲットに、それぞれの市場に対応した誘客促進策を実施		
	外国語対応のガイドの養成	平成29年度まではこれまでの取組を持続させ、平成30年度以降はガイドスタッフの養成を計画している。		

具体的施策	1-2-3 観光産業の展開による地域経済の活性化			
内容	さらなる観光振興を図るため、推進体制を整えて実行力を高める「(仮称)美祿市観光まちづくり組織(DMO)」の設置を促します。 さらに、ジオパークを活かして、年間を通して途切れのない観光戦略を構築し、市内各地への周遊と滞在時間を増やす取組により交流人口を増加させ、市内経済へ刺激を与えます。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H31)
	観光施設への交流人口	124万人 (H25)	150万人 (H28)	148万人
	道の駅等の特産品販売額	2.4億円 (H25)	2.4億円	2.6億円
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け 平成28年度に 取り組んだ 事業の概要	DMOを見据えた推進体制の構築	各種セミナーを開催し、DMO構築の下準備の実施		
	広域連携による周遊観光の推進	広域連携によるサイクリングマップの作成、各種イベントでの連携を行い、周遊観光の促進を図った。		
	ジオパークを活かした市内観光の周遊促進と滞在時間の延長への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・Mine秋吉台ジオパークセンター開設 ・ジオツアーの実施(47ツアー、1,275人) ・視察・巡検の受入(13団体、169人) 		
	閑散期における観光地への誘致促進	萌えサミットを開催し、新たな客層へアプローチを実施		
平成29年度以降の 取組内容と その理由	DMOを見据えた推進体制の構築	平成30年度末にDMOを構築できるよう調整を図る。		
	広域連携による周遊観光の推進	広域連携によるFAMツアーの実施、イベントでのPR等により、周遊観光の推進を図る。		
	ジオパークを活かした市内観光の周遊促進と滞在時間の延長への取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ジオガイドしか知り得ない様々な地元の話を聞きながら、ゆっくり楽しむことができるジオツアーの実施 ・宿泊、入洞料等の増加を図るため、視察・巡検の受入を実施 		
	閑散期における観光地への誘致促進	平成29年度は、11月に秋吉台星空のイルミネーションを開催し誘客促進を図る。今後は、秋吉台を星空の聖地としてPRを実施		

具体的施策	1-3-1 地域ブランドの育成と六次産業化の推進			
内容	農林産業の維持・安定化を図るため、ジオパークの活用や豊かな土づくりを通して、科学的根拠に基づいた機能性を表示できる食品(機能性表示食品)などの農林産物の高付加価値化や、ブランド化、六次産業化を図るとともに、道の駅等を活用した流通を促進します。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H31)
	ミネコレクションの認定商品数	20品 (H26)	57品	50品
	道の駅等の特産品販売額	2.4億円 (H25)	2.4億円	2.6億円
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け 平成28年度に 取り組んだ 事業の概要	六次産業化の推進による 生産者の所得向上	六次産業化の促進のため、最大20万円を交付する六次産業化振興推進事業を実施し、平成28年度において2件、40万円を交付		
	ミネコレクションの拡充と 改良および販売促進	認定審査会を実施し、4事業者15品目を新たに認定し、その結果、平成28年度末で、18事業者57品目 美祢さくらまつりの際に、認定賞授与式を公開するとともに、ブースにおいて商品のPR及び販売を実施したほか、市内外の展示会や 商談会等に商品の展示、販売を実施		
	美祢産食材の販路拡大	市内外において開催される展示会や商談会等に出品し、展示・販売を実施 台湾において開催されたFOOD TAIPEIに参加し、市内商品の展示・PRを実施		
	道の駅を活用した地域の 情報発信と交流の拡大	店舗内にミネコレクションコーナーを設置し、他の商品との差別化を図る。		
平成29年度以降の 取組内容と その理由	六次産業化の推進による 生産者の所得向上	前年度と同様に事業を実施		
	ミネコレクションの拡充と 改良および販売促進	六次産業化基本計画見直しに併せ、ミネコレクションの認定基準等についての見直しを行うため、ミネコレクションの応募を1年間凍 結		
	美祢産食材の販路拡大	市内外において開催される展示会や商談会等に出品し、展示・販売を実施		
	道の駅を活用した地域の 情報発信と交流の拡大	店舗内にミネコレクションコーナーを設置し、他の商品との差別化を図る。		

具体的施策	1-3-2 農業の担い手の育成			
内容	就農者への負担を軽減するなど、農林業の担い手(雇用)確保を支援します。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H31)
	集落営農法人数	20法人 (H26)	23法人	25法人
	認定新規就農者数	7人 (H26)	8人	12人
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け 平成28年度に 取り組んだ 事業の概要	就農希望者への就学費用、就農時の初期投資経費の支援	新規就農者支援対策事業(はじめてみ～ね農業応援事業)として、県が実施する新規就業者定着促進事業の支援の対象とならない家賃補助や施設・機械整備の補助金の交付を実施		
	契約栽培による奨励品目作付面積拡大に係る初期投資の軽減	美祢市契約野菜生産基盤強化事業(はじめてみ～ね野菜チャレンジ事業)として、契約栽培による奨励品目であるゴボウ、キャベツの作付拡大を行った生産者に補助金の交付を実施		
	新規就農者への支援	関係機関と連携し、就農相談や県立農業大学校での面談等を実施し、新規就農希望者の掘り起こしを実施		
	認定農業者や集落営農の担い手育成	認定農業者や集落営農法人に対し、施設・機械の整備の補助金の交付を実施		
平成29年度以降の 取組内容と その理由	就農希望者への就学費用、就農時の初期投資経費の支援	新規就農・就業者の獲得に向け、現行事業の継続と事業のより一層の周知に努める。		
	契約栽培による奨励品目作付面積拡大に係る初期投資の軽減	美祢市産の契約野菜を安定的に供給し、需要の維持、消費の拡大を図るため、現行事業を継続実施		
	新規就農者への支援	新規就農・就業者の獲得に向け、就農相談窓口の内容の充実を図る。		
	認定農業者や集落営農の担い手育成	地域の中心的な担い手である認定農業者の生産拡大や経営改善のため、現行事業を継続実施		

具体的施策	2-1-1 地域PR・プロモーションの推進			
内容	本市の持つ地域資源を守るとともに、本市の知名度を高め、全国・世界から選ばれるまちを目指し、人々を魅了するプロモーション活動と情報発信を行い、交流人口の拡大と定住人口の増加を図ります。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H31)
	美祢市の情報接触度	5.3点(H26)	5.9点	10.0点
	美祢市への観光意欲度	12.4点(H26)	14.9点	18.0点
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け 平成28年度に 取り組んだ 事業の概要	都市圏へのプロモーション、観光情報ブースでの情報発信	・都市圏での観光展に参加し、美祢市の観光PRを実施 ・観光PR映像を作成し、YouTube等で情報発信を実施		
	ふるさと交流大使による情報発信	美祢市ふるさと交流大使の名刺を作成・配付し、ふるさと交流大使が適宜配付することにより美祢市を発信していただいている。また、久保修氏においては市職員が作成する名刺の台紙に、同氏の作品の中で秋吉台や桜など美祢市に関係のあるものを使用させていただき、市の発信に間接的に協力いただいている。		
	移住ターンフェアへの参加による都市圏への情報発信	都市圏で開催されるUJIターンフェアに参加し、移住定住に関する相談対応を行った。		
	観光エリアのWi-Fi環境整備	大正洞・景清洞案内所にWi-Fi環境を整備		
	台北・観光・交流事務所を活用した美祢市PRの推進	台湾から山口県へのチャーター便を誘致するなど、積極的に企業回りをを行うことによる観光客誘致		
	漫画・アニメーションを活用した情報発信ツールの推進	より親しみやすい広報誌の作成を目指し、ふるさと交流大使 苑場先生による歴史・施策漫画の連載を開始		
平成29年度以降の 取組内容と その理由	都市圏へのプロモーション、観光情報ブースでの情報発信	・都市圏での観光展に参加し、美祢市の観光PRを実施 ・観光VRコンテンツを構築し、効果的なプロモーションを実施		
	ふるさと交流大使による情報発信	前年に引き続き、美祢市ふるさと交流大使の名刺を作成・配付し、ふるさと交流大使が適宜配付することにより美祢市を発信していただいている。また、久保修氏に、8月26日(土)・27日(日)に放送された日本テレビ『24時間テレビ』内で、巨大切り絵を募金にきた方々と作り上げるプロジェクトにおいて、その切り絵の題材として「秋吉台」を取り上げ、本市の発信をしていただいた。		
	移住ターンフェアへの参加による都市圏への情報発信	UJIターンフェアに積極的に参加し、民間の知識も取り入れ、協働して移住者の受入れに取り組む。		
	観光エリアのWi-Fi環境整備	別府弁天池にWi-Fiを整備予定		
	台北観光・交流事務所を活用した美祢市PRの推進	東アジア地域において、台湾、韓国、タイなどをターゲットにそれぞれの市場に対応した誘客促進策を実施		
	漫画・アニメーションを活用した情報発信ツールの推進	漫画連載を継続し、わかりやすく親しみやすい広報誌の作成		

具体的施策	2-1-2 国際交流の推進			
内容	海外の友好交流都市を核として、本市の魅力を世界に伝える国際交流を活発化し、交流人口の拡大を図ります。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H31)
	外国人観光客数	38,039人 (H25)	56,337人 (H28)	70,000人
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け 平成28年度に 取り組んだ 事業の概要	中学生を対象とした、海外研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中学生2名をカナダ(バンクーバー)へ派遣し、2週間の国際交流活動と語学研修プログラムに参加させた。その後、在籍中学校において研修発表を行い、市内中学生の国際感覚の育成に貢献した。 ・平成28年8月8日と9日の2日間、台湾南投県立水里国民中学の生徒13名と引率者5名の18名が美祢市を訪れ、美祢市の児童・生徒と交流を実施し、美祢市の子どもたち35名とそうめん流し、鱒釣り、化石採集体験、秋芳洞見学等を実施 		
	海外の友好交流都市との交流人口の拡大	水里郷からの訪日団を受け入れ、市内中学生との交流を実施し、国際交流の拡大を図った。		
	大学等と連携した国際交流の推進	山口大学国際総合科学部と連携し、台湾で現地調査及びインターンシップを行うなど国際交流の推進を行った。		
	誘導・案内看板の多言語化の整備	ジオスポットの看板を多言語化するなど優先順位の高い場所から整備を実施(誘導・案内看板の多言語化の整備・多言語説明看板4カ所設置)		
平成29年度以降の 取組内容と その理由	中学生を対象とした、海外研修の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中学生3名をカナダ(ウイスラー)へ派遣し、10日間の国際交流活動と語学研修プログラムに参加させた。その後、美祢市中学校文化祭や在籍中学校において研修発表を行うことで、市内中学生の国際的視野を広げ、国際感覚の育成に貢献した。 ・外国文化と社会に対する認識を深めるとともに、コミュニケーション能力を育て、国際理解のある人材の育成を図ることを目的として、平成29年8月18日から22日までの5日間、市民海外研修団として、美祢市内の中学生8名、高校生2名を台湾に派遣し、研修2日目・3日目では、於福中学校と姉妹校を締結している水里国民中学の生徒と一緒に陶芸体験をしたり、カヌー体験をしたりして交流を深めた。研修後は在籍校において研修発表を行い、他の生徒へ研修成果を還元する。 		
	海外の友好交流都市との交流人口の拡大	今後も、南投縣水里郷を中心とし、交流を促進していく。		
	大学等と連携した国際交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・山口大学等と連携し、台北観光・交流事務所を拠点として活用し、現地調査及びインターンシップを行うことで国際交流の推進を図る。 ・山口大学国際総合科学部の台湾からの留学生に市民海外研修の現地スタッフとして参加いただき、美祢市の子供たちと交流を図りながら、現地の文化等を教えていただいた。 		
	誘導・案内看板の多言語化の整備	インバウンド対策、ユネスコ世界ジオパークで認定に向けて必須となる多言語説明看板の設置及びパンフレットの多言語化(4カ国語)を実施		

具体的施策	2-2-1 美祢ブランドの確立と活用			
内容	地域の食・産品・体験ツアー等を効果的に展開し、美祢ブランドの確立と定着を図ります。また、ジオパーク活動など、本市の魅力を来訪者に伝え、交流人口の拡大と定住人口の増加を促進します。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H31)
	美祢市の魅力度	2.7点 (H26)	3.7点	4.0点
	ミネコレクションの認定商品数	20品 (H26)	57品	50品
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け 平成28年度に 取り組んだ 事業の概要	ジオパークを活かした美祢独自のニューツーリズムの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・Mine秋吉台ジオパークセンター開設 ・ジオツアーの実施(47ツアー、1,275人) 		
	ふるさと美祢応援寄附金を活用した美祢ブランドの普及促進	ふるさと納税用カタログ「美祢ふるさと便」において、MINE COLLECTION特集を掲載するとともに、「謝礼品ご案内」において、複数の商品をセットにし、求めやすいような工夫を行っている。		
平成29年度以降の 取組内容と その理由	ジオパークを活かした美祢独自のニューツーリズムの推進	交流人口の増加を図るため、ジオツアー、ジオフェスの実施並びにジオサイトの整備		
	ふるさと美祢応援寄附金を活用した美祢ブランドの普及促進	ふるさと納税用カタログ「美祢ふるさと便」において、MINE COLLECTION特集を掲載するとともに、「謝礼品ご案内」において、複数の商品をセットにし、求めやすいような工夫を行っている。		

具体的施策	2-2-2 移住推進体制の構築と定住支援			
内容	本市への移住を推進する体制を整えるとともに、住宅取得等の支援を行います。また、三世代同居や近居を促進します。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H31)
	UJIターン受入人数	39人(H26)	121人	138人(累計)
	空き家等情報バンク登録物件の成約件数	年平均3.4件 (H22~H26)	年平均3.0件 (H27~H28)	年平均5件 (H27~H31)
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け 平成28年度に 取り組んだ 事業の概要	住宅取得の支援	住宅取得者に対し、最大300万円の補助金を交付する補助事業を展開。市外からの人口流入を促進するとともに、市内からの人口流出を抑制することにより、定住人口の拡大を図る。		
	市分譲宅地の販売促進	住宅団地の定住を促進するため、イベントや戸建て住宅の完成見学会を開催。分譲用地の販売促進を図る。		
	空き屋等情報バンク登録家屋の充実	利用可能な空き家の掘り起こしを行い、所有者に対して空き家等情報バンクへの登録意向調査を実施		
	空き家等改修費の補助	空き家の有効活用と空き家情報バンクの利用を促進し、空き家の減少につなげることを目的とし、空き家等情報バンクを介して契約(売買・賃貸借)を締結し、リフォームを実施した場合に補助金を交付		
	ワンストップサービスの構築	移住・定住に特化した部署(IJU定住促進室)を設け、相談者からのワンストップ窓口の構築を図った。		
	三世代同居・近居の推進	高齢者及び共働き夫婦が増える中において、親子の相互扶助及び本市への定住促進を図るため、親、子及び孫が三世代で同居する場合又は近隣に居住する場合に補助金を交付		
	美祢魅力発掘隊(地域おこし協力隊)の活用	美祢魅力発掘隊員1名着任し、美東町赤郷地域を拠点に活動開始。また、東厚保町植柳地域を拠点に活動する隊員1名の募集を開始		
平成29年度以降の 取組内容と その理由	住宅取得の支援	補助事業の申請者数は想定した数より多いため、引き続き補助事業による支援を実施		
	市分譲宅地の販売促進	周辺地域の住宅地に係るマーケティング調査を基に事業計画を作成し、計画に基づいた販売促進を実施		
	空き家等情報バンク登録家屋の充実	空き家等情報バンクの登録意向調査については、地元からの情報提供を促し、他課との事業連携を図る。		
	空き家等改修費の補助	リフォーム補助に関しては、空き家の利用促進として想定以上の効果があり、引き続き事業の推進を図る。		
	ワンストップサービスの構築	移住定住の相談員を設置し、相談者対応に当たる。また就農、就業関連事業課と連携し、更なるワンストップの構築に取り組む。		
	三世代同居・近居の推進	県事業と連携し、効果的なPRと周知を図り、申請者増加に向けて利用促進を行う。		
	美祢魅力発掘隊(地域おこし協力隊)の活用	平成28年度に引き続き、隊員(東厚保町植柳地域)の募集を継続 秋芳町秋吉地域を拠点とし、芸術(アート)と地域を繋ぐ活動を展開する隊員の設置 隊員の増員、設置については、必要性を考慮したうえで検討		

具体的施策	2-3-1 美祢市への定住支援・移住環境の整備			
内容	移住を希望する高齢者の定住に向けた支援を行うとともに、高齢者が安心して住める居住環境を整えます。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H31)
	高齢福祉の充実に関する不満度	20.4%	-	14.0%
	高齢者における空き家等情報バンク登録物件の成約件数	-	年平均0件 (H27~H28)	年平均2件 (H27~H31)
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け 平成28年度に 取り組んだ 事業の概要	空き家等情報バンク登録 家屋の充実	利用可能な空き家の掘り起こしを行い、所有者に対して空き家等情報バンクへの登録意向調査を実施		
	空き家等改修費補助の拡 充	空き家情報バンクの登録物件数の増加を図り、空き家のリフォーム改修補助により空き家の利用促進に繋げた。		
	自己所有家屋の住宅リ フォーム費用の助成	市民の居住環境の向上や地域経済活性化及び雇用の創出を図るため、平成24年度から住宅リフォーム助成事業を実施(23件、202万円を交付)		
	高齢者向け優良賃貸住宅 の入居支援	高齢者向け優良賃貸住宅入居者の負担額決定及び入居者への家賃補助 2団地(ひまわり苑とグレースフルめぐみの園。ただし、ひまわり苑は6月末で管理期間が終了。)		
	老人福祉施設の整備	環境上及び経済的理由により在宅生活が困難となった高齢者の受入れ(共楽荘管理運営事業)		
平成29年度以降の 取組内容と その理由	空き家等情報バンク登録 家屋の充実	空き家等情報バンクの登録意向調査については、地元からの情報提供を促し、他課との事業連携を図る。		
	空き家等改修費補助の拡 充	引き続き空き家情報バンクの登録物件の増加を図り、リフォーム補助を活用することで空き家の利用を促進する。		
	自己所有家屋の住宅リ フォーム費用の助成	前年度に引き続き事業を実施。当初予算額は1,000万円の前年度と比較して800万円の増		
	高齢者向け優良賃貸住宅 の入居支援	高齢者向け優良賃貸住宅入居者の負担額決定及び入居者への家賃補助 1団地(グレースフルめぐみの園。)		
	老人福祉施設の整備	高齢者が安心して生活できる良質な住居の確保を支援するため、環境上及び経済的理由により在宅生活が困難となった高齢者を受入れ		

具体的施策	2-3-2 介護・医療従事者の確保			
内容	高齢者の受け入れや安心できる医療環境の充実に向け、医師、看護師、介護福祉士等を確保します。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H30)
	市民千人あたりの看護師数	8.40人(H24)	8.72人(H26.12)	8.70人
	介護保険施設の従業者数	242人(H24)	—	260人
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け 平成28年度に 取り組んだ 事業の概要	市内医療機関等の看護師 確保(奨学金貸付)	4月に募集するが、定員を満たさず7月まで追加募集を実施(定員を充足しなかった。)		
	介護福祉士の資格取得、 人材確保への支援	介護サービスを担う介護職員の資質向上及び人材確保を図るため、介護福祉士の資格取得に要する費用の一部を補助(介護福祉士資格取得助成事業)		
平成29年度以降の 取組内容と その理由	市内医療機関等の看護師 確保(奨学金貸付)	4月募集に加え追加募集、12月に事前募集を実施。それに伴い、准看護学校、高等学校など範囲を拡大して制度の説明を実施		
	介護福祉士の資格取得、 人材確保への支援	介護サービスを担う介護職員の資質向上及び人材確保を図るため、介護福祉士の資格取得に要する費用の一部を補助		

具体的施策	3-1-1 出会いの機会の創出			
内容	結婚を希望している若者に対して、相手を見つけることができる企画を提供し、きっかけづくりを支援します。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H31)
	出会いの場への参加者に対する支援人数	年平均6.8人 (H23~H26)	年平均14人 (H27・28)	年平均15人 (H27~H31)
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け 平成28年度に 取り組んだ 事業の概要	結婚支援活動の実施(参加費の援助)	婚活イベント参加者(12人)に対し、イベント参加料補助を実施(上限3,000円)		
	出会いの場の創出及び支援	やまぐち結婚応縁センター登録者(3人)に対し、登録料5,000円(全額)の補助を実施		
平成29年度以降の 取組内容と その理由	結婚支援活動の実施(参加費の援助)	やまぐち結婚応縁センターが実施するイベントに参加した者にイベント参加料の補助を実施		
	出会いの場の創出及び支援	やまぐち結婚応縁センター登録者に対し、登録料5,000円(全額)の補助を実施		

具体的施策	3-2-1 子育て世代の負担軽減			
内容	子育て世代の心理的・肉体的・経済的負担を軽減し、2人目、3人目と、子供が産みやすい状況をつくるため、健診や育児等に係る総合的な支援を行います。また、今後の子育てに関する負担軽減に向けて検討を行います。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H31)
	児童クラブ数	10か所	15か所	12か所
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け平成28年度に取り組んだ事業の概要	不妊治療への支援	経済的負担軽減目的で、一般不妊治療(医療保険適用の不妊治療)費助成事業を実施していたが、新たに特定不妊治療(指定医療機関による体外受精・顕微授精)費の助成事業を実施		
	妊婦健康診査等への支援	少子化対策の一環として、妊娠中を健やかに過ごし安心安全に出産を迎えるために、妊婦健康診査14回の助成を実施		
	多子世帯への保育料減免等、保育サービスの充実	保育料について、2人以上子どもがいる世帯について、所得制限を設けずに、第2子は半額、第3子以降は全額補助を実施。また、延長保育や一時預かり保育の実施により、多様なライフスタイルに応じたサービスを提供		
	地域子育て支援の場の提供	少子化や核家族の進行による地域社会の変化に伴い、子育てに対して不安や孤独を感じる子育て世代が増えているため、子育てに関する様々な悩み等について相談を行い、親子の交流の場を提供する子育て広場「カンガルーム」を平成28年5月に開設		
	放課後等に安心して過ごせる場の充実	平成28年度は、要望のあった真長田、赤郷、伊佐中央幼稚園児童クラブの3か所を新設		
	ひとり親家庭等の自立支援の推進	母子父子自立支援員を配置し、生活や就労の支援を実施。また、職業訓練等に対する助成金として、自立支援教育訓練給付金、高等技能訓練促進費をそれぞれ1名に対し給付		
	三世帯同居・近居の推進	高齢者及び共働き夫婦が増える中において、親子の相互扶助及び本市への定住促進を図るため、親、子及び孫が三世帯で同居する場合又は近隣に居住する場合に補助金を交付		
平成29年度以降の取組内容とその理由	不妊治療への支援	経済的負担軽減目的で、一般不妊治療(医療保険適用の不妊治療)費と特定不妊治療(指定医療機関による体外受精・顕微授精)費の助成事業を実施		
	妊婦健康診査等への支援	少子化対策の一環として、妊娠中を健やかに過ごし安心安全に出産を迎えるために、妊婦健康診査14回の助成を実施		
	多子世帯への保育料減免等、保育サービスの充実	保育料について、2人以上子どもがいる世帯について、所得制限を設けずに、第2子は半額、第3子以降は全額補助を実施。また、延長保育や一時預かり保育の実施により、多様なライフスタイルに応じたサービスを提供		
	地域子育て支援の場の提供	平成28年度に開設した子育て広場について、事業内容の充実に努め、利用者数の向上を図る。		
	放課後等に安心して過ごせる場の充実	平成29年4月には、要望のあった麦川児童クラブを開設。また、平成30年4月に開校する桂花小学校内の児童クラブと増改築中の厚保小学校内に移転する厚保児童クラブの開設準備を実施。また、放課後児童支援員の研修の受講促進を行い質の向上を図る。		
	ひとり親家庭等の自立支援の推進	母子父子自立支援員を配置し、生活や就労支援を実施。また、必要に応じて、職業訓練等に対する助成金として、自立支援教育訓練給付金等を給付		
	三世帯同居・近居の推進	県事業と連携し、効果的なPRと周知を図り、申請者増加に向けて利用促進を実施		

具体的施策	3-2-2 子育てが楽しい環境づくり			
内容	子育て世代を地域が支え、子育てすることが楽しいと思える環境と支援体制を整え、夫婦が理想とする子ども数の実現を図ります。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H31)
	子育て支援の充実に対する不満度	18.9%	—	12.0%
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け 平成28年度に 取り組んだ 事業の概要	子育て世代が求める情報 配信の強化(ホームペー ジの立上)	平成28年4月に美祢市の子育てに必要な情報(市のサービス、お知らせ、関係団体の活動、施設の紹介など)を総合的に提供するWebサイトを開設		
	子どもと一緒に楽しめる場 所づくり	児童公園の遊具について、定期点検を行うなどの管理を実施。平成28年度は老朽化により使用出来なくなった遊具の撤去を実施		
	子育ての仲間づくりの支 援	市内で活動する子育て団体や地域組織に対し補助金を交付。活動内容については、子育て応援サイト「つぼみねっと」を通して情報発信を実施		
	男性も育児に参加できる 環境づくり	父親の家庭教育参加を推進するため「山口県おやじの会」について各園に情報の周知を実施		
平成29年度以降の 取組内容と その理由	子育て世代が求める情報 配信の強化(ホームペー ジの立上)	平成28年度に開設した、子育て応援サイト「つぼみねっと」について、引き続き内容の充実を図りながら、子育て世代が美祢市で安心して子育てができる情報を提供できるよう運営を実施		
	子どもと一緒に楽しめる場 所づくり	点検により危険と判断された遊具については、予算の範囲内で改修を行うとともに、今後は、更新の必要な遊具について検討していく。		
	子育ての仲間づくりの支 援	子育て家庭が地域で孤立することがないように、より一層の情報提供を行うとともに、子育て団体や地域組織に対し活動支援を実施		
	男性も育児に参加できる 環境づくり	父親の家庭教育参加を推進するため「山口県おやじの会」について各園に情報の周知を実施		

具体的施策	3-3-1 郷土に誇りが持てる教育活動			
内容	学習効率の向上に向けた教育環境の整備とともに、ジオパーク活動など、本市の魅力を再認識できる学習や教育活動を行い、郷土を愛し、地域の未来を担う人材の育成を図ります。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H31)
	美祢市に愛着を持つ小・中・高生の割合	61.2% (H26)	—	70%
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け 平成28年度に 取り組んだ 事業の概要	ジオパーク活動等による、美祢の自然・歴史・文化を愛するひとづくり	美祢市の地質遺産や自然・文化遺産に係る特色ある教育活動を推進するために、市内全小・中学校のジオ学習の取組に対し助成を行い、各校で行われたジオ学習の好事例を集約して実践事例集を作成。また、子どもたちへの指導の充実につながるよう、市内に転入した教職員対象のフィールドワーク研修を実施		
	教育環境の整備・充実	市内小学校4校の普通教室等に空調機器を整備し、教育環境の充実を図った。		
	郷土を愛するいきいき美祢の子の育成	市内全ての学校運営協議会へ補助を行い、地域の人材や素材を生かした教育活動を推進するとともに、学校運営・学校支援・地域貢献を柱とし、学校・家庭・地域が一体となった学校運営協議会の体制を整えた。また、コミュニティ・スクール推進協議会(年3回)を開催し、研修や情報交換等を行い、市全体として取組の推進を図った。さらに、モデル地域に指定した中学校区(厚保・美東)にコンダクターを派遣し、課題を把握するとともに、課題改善に向けての指導を行った。		
	特色ある教育活動の推進	地域や学校の特色を生かした伝統的学校活動(和太鼓、マーチングバンド等)を支援し、ふるさとへの誇りと愛着をもちながら、継承し発展させようとする心や態度の育成を図った。8月の美祢市教育振興大会では、秋吉小と秋芳中が「草炎太鼓」の演奏発表を行い、伝統を継承している子どもたちの姿を地域に披露した。また、子ども交流塾を定期的に開催し、リーダー養成に努めた。		
	学校・家庭・地域と連携した青少年の健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域協育ネット」による学校・地域が連携した教育活動の推進 ・子ども達が地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する放課後子ども教室の実施 ・山梨市の子も達と交流する美祢・山梨子ども交流事業の実施 ・「子ども110番」のぼり旗を市内各所に設置。児童の豊かな心を育成するための文化芸術に触れる機会を目的に市内の児童等に対して、オペラの鑑賞や尺八と琴のコンサートを実施 		
高校の魅力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・中高連携教育推進会議において、市内県立高等学校長や市内中学校長と市内県立高校を活性化するための方法について意見交換実施 ・県教育庁高校教育課と県立高校の再編統合計画や市内県立高校の魅力向上や支援策について協議 ・市内唯一の県立高校の存続に向けての支援策を模索するために、広島県と島根県の高校を視察し、先進的な取組事項や高等学校と自治体との連携について情報を収集 ・中高連携教育推進会議での意見を受け、市内高等学校2校)のPR放送の実施に向けて、美祢市内高等学校PR放送協議会を開催(2回) 			
平成29年度以降の 取組内容と その理由	ジオパーク活動等による、美祢の自然・歴史・文化を愛するひとづくり	美祢市の地質遺産や自然・文化遺産に係る特色ある教育活動を継続・発展させるために、市内全小・中学校のジオ学習の取組に対し助成を行い、ふるさとへの誇りと愛着を育成する。また、各校で行われたジオ学習の好事例を集約し、実践事例集を作成することで、ジオ学習の深化・充実を図る。あわせて、市内に転入した教職員対象のフィールドワーク研修を行うことで、子どもたちへの指導の充実に生かす。		
	教育環境の整備・充実	市内中学校の普通教室に空調機器を整備し、学習効果を高め学力の向上を目指す。		
	郷土を愛するいきいき美祢の子の育成	市内全ての学校運営協議会へ引き続き補助を行うとともに、教職員や地域住民にコミュニティ・スクールの意義や取組の周知を図ることで、小中連携を含めた地域・家庭が参画する学校づくりの充実に努める。また、年度ごとにモデル地域を指定(H29大嶺、H30伊佐・於福)し、美祢市全ての地域に段階的に支援を行うことで、コミュニティ・スクールに係る市全体の体制を整え、郷土を愛し、地域の未来を担う人材の育成を図る。		
	特色ある教育活動の推進	地域や学校の特色を生かした伝統的学校活動(和太鼓、マーチングバンド等)を引き続き支援し、ふるさとへの誇りと愛着をもちながら、継承し発展させようとする心や態度の育成を図る。		
	学校・家庭・地域と連携した青少年の健全育成	平成28年度に取り組んだ「地域協育ネット」の推進により、学校と地域が連携した教育活動を実施することができ、また、他県の子どもの交流により本市のすばらしさを再認識し、郷土愛の醸成が図れたため、引き続き取組を実施する。		
高校の魅力向上	必要に応じて、美祢市内高等学校PR放送協議会を開催(6月2日に第1回会議を開催) 市内高等学校2校(県立1校、私立1校)がどのような学校なのかを市民によく理解してもらうため、また、理解してもらうことで市内中学生が市内高等学校に進学したいと思ってもらうようにするため、各校の生徒が作成した学校紹介ビデオを美祢市有線テレビで定期的に放映する(実施中)。			

具体的施策	4-1-1 防犯・防災対策の充実			
内容	本市の安全性が高い環境をより盤石となるよう、地域防災・防犯力の向上を図ります。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H31)
	人口千人当たりの犯罪認知件数	3.9件(H24)	3.9件	3.0件
	人口に占める消防団員数の割合	3.42%(H26)	3.54%(H28)	維持
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け 平成28年度に 取り組んだ 事業の概要	防災訓練等による地域防災力の向上	地域の自主的な防災活動を推進するため、自主防災組織の活動に対し補助金を交付した。また、総合防災訓練や講演会を通じ、地域住民の防災意識の向上を図った。		
	安全安心メール登録者の拡大	美祢市ホームページ、市報等に案内を掲載し登録者数が増加した。		
	地域ぐるみの防犯体制の充実	美祢市防犯対策協議会と連携して、うそ電話詐欺防止ダイレクトメールの発送や、年金支給日にうそ電話詐欺被害防止キャンペーンを実施し、地域主体の防犯活動の推進を図った。		
	消防団員の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害発生時の対応には団員数の確保は重要であり、平成25年12月に策定された消防団新法においても消防団員の確保が強く求められていることから、行政から団員の削減につながる再編計画は示さず、人員確保困難等の理由により自主的な部隊統合を検討する部隊との調整及び統合部隊の体制整備を図る。 ・市民に消防団活動を理解してもらい入団促進へつなげるため、広報誌、MYTでの広報地区運動会等への参加を積極的に行う。 ・美東方面隊赤郷分団の統合(平成28年10月1日) ・広報誌、MYTによる入団促進広報 ・地区運動会に参加し消火展示訓練を実施 		
	空き家(危険家屋)の対策の推進	美祢市危険家屋除却推進事業の創設。(補助実績 2件) 美祢市空家等対策協議会の開催。(開催 1回)		
平成29年度以降の 取組内容と その理由	防災訓練等による地域防災力の向上	地域の自主的な防災活動を推進するため、自主防災組織の活動に対し補助金を交付した。総合防災訓練や講演会等の開催を通じ、地域住民の防災意識の向上を図る。		
	安全安心メール登録者の拡大	美祢市ホームページ、市報等に掲載。また、配信情報のカテゴリの増加等サービス充実を図る。		
	地域ぐるみの防犯体制の充実	美祢市防犯対策協議会と連携して、うそ電話詐欺防止ダイレクトメールの発送や、年金支給日にうそ電話詐欺被害防止キャンペーンを実施し地域主体の防犯活動の推進を図る。		
	消防団員の育成	・消防団活動を市民にPRすることが消防防災の推進・消防団への入団促進につながる。		
	空き家(危険家屋)の対策の推進	美祢市危険家屋除却推進事業の実施。(3件予定) 美祢市空家等対策協議会の開催。(2回開催予定) 美祢市空家等対策の推進に関する条例及び施行規則の制定		

具体的施策	4-1-2 医療と地域包括ケアの連携強化			
内容	高齢化への対応や移住者に選ばれるまちに向け、介護・医療の強化を図り、安心できる医療・福祉体制・環境を整えます。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H31)
	地域住民グループ数(サロン活動等)	100グループ (H26)	107グループ	110グループ
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け 平成28年度に 取り組んだ 事業の概要	地域包括ケアシステム推進に向けた医療と介護の連携強化	医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けていくことができよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療関係職種と介護関係職種との連携を推進する。(在宅医療・介護連携推進事業)		
	在宅高齢者の安全安心の確保	・食事の確保が困難な高齢者宅を訪問し、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、利用者の安否確認を実施(配食サービス事業) ・日常生活上、注意を要する高齢者宅に、24時間体制の受信センターと双方向で会話ができる緊急通報装置を設置(緊急通報体制等整備事業)		
	地域ぐるみの見守り体制の構築	・認知症の人が徘徊などにより行方不明となった場合に、認知症等高齢者徘徊・見守りSOSネットワークにより、家族や警察だけでなく、地域の協力のもと早期に発見できる体制を構築(認知症等高齢者徘徊・見守りSOSネットワーク事業) ・認知症を正しく理解し、認知所の人やその家族を温かく見守り、自分のできる範囲で支援する応援者(サポーター)になるための認知症サポーター養成講座を開催。認知症サポーターには、その証として「オレンジリング」を配布し、活動の輪を広げる。(認知症サポーター等養成事業)		
	地域サロン活動・高齢者いきがいつくりの推進	各地区の集会所などで自主的に運営をしている「ふれあい・いきいきサロン」や介護予防を目的として結成された自主グループに補助金を交付し、その活動を支援(地域住民グループ支援事業)		
	生涯活躍のまちの整備	株式会社YMFG ZONE プランニングと山口大学経済学部 鍋山教授と連携を図り、地域の特徴を活かしたまちづくりに取り組むための基本計画を策定。また、山口大学経済学部の学生とも連携を図り、7公民館で市民参加のワークショップを開催		
平成29年度以降の 取組内容と その理由	地域包括ケアシステム推進に向けた医療と介護の連携強化	医療と介護の両方を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けていくことができよう、在宅医療と介護を一体的に提供するため、医療関係職種と介護関係職種との連携を推進する。		
	在宅高齢者の安全安心の確保	・高齢者等の食生活の向上と健康の保持に資するため、食事の確保が困難な高齢者宅を訪問し、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、利用者の安否確認を行う。 ・在宅福祉の向上を図るため、日常生活上、注意を要する高齢者宅に、24時間体制の受信センターと双方向で会話ができる緊急通報装置を設置		
	地域ぐるみの見守り体制の構築	・徘徊高齢者の生命及び身体の安全を図るため、認知症の人が徘徊などにより行方不明となった場合に、認知症等高齢者徘徊・見守りSOSネットワークにより、家族や警察だけでなく、地域の協力のもと早期に発見できる体制を構築する。 ・認知症を正しく理解し、認知所の人やその家族を温かく見守り、自分のできる範囲で支援する応援者(サポーター)を養成することで、認知症の人を支援するとともに、応援者(サポーター)の中から地域のリーダーとして、まちづくりの担い手を育成するため、認知症サポーター養成講座を開催		
	地域サロン活動・高齢者いきがいつくりの推進	高齢者の生きがいと社会参加の促進、閉じこもり予防を図るため、各地区の集会所などで自主的に運営をしている「ふれあい・いきいきサロン」や介護予防を目的として結成された自主グループに補助金を交付し、その活動を支援		
	生涯活躍のまちの整備	地域の特徴を活かしたまちづくりに取り組むための手法を検討		

具体的施策	4-2-1 地域公共交通網の利便性の確保			
内容	日常生活に不可欠な鉄道・バス路線を維持するとともに、ミニバスを運行することにより交通網の利便性の確保を図ります。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H31)
	1日当たりのJR美祢線の利用者数	110人 (H25)	167人 (H28)	180人
	1日当たりのミニバス等の利用者数	50人 (H25)	57人 (H28)	70人
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け 平成28年度に 取り組んだ 事業の概要	ミニバス等の運行による、 交通不便地域の解消	7地区においてミニバス等の運行による、交通不便地域の解消に努めた。しかし、平成28年度実施したアンケート調査や住民意見交換会によると一部地域では、ミニバス運行範囲の見直しが求められており、市民にとって利用しやすく将来にわたり持続可能な公共交通体系を構築するため「美祢市地域公共交通網形成計画」を策定		
	既存の公共バス路線の維持	現在、既存のバス路線は、市等の補助金により維持している。しかし、モーターゼーション等により利用者数の減少や運転手不足からバス路線の維持は困難な状況である。そこで、通院や買物等の日常生活の移動、通学移動のバス路線を維持・確保し、市民のニーズに合った利便性の高い、公共交通体系を構築するため「美祢市地域公共交通網形成計画」を策定		
	沿線市と連携したJR美祢 線の利用促進	平成28年度事業計画に基づき、回数券・定期券・団体利用・社会学習補助、イベント列車の運行、幼保交流事業、沿線公共施設の減免、美祢駅トイレ改修等、8項目19事業に取り組み利用促進を実施		
	中心市街地活性化事業の 実施			
	中心市街地憩いの場の創 造			
平成29年度以降の 取組内容と その理由	ミニバス等の運行による、 交通不便地域の解消	7地区においてミニバス等の運行による、交通不便地域の解消に努める。また、平成29年3月に策定した「美祢市地域公共交通網形成計画」を具体化するため、今年度、ミニバスの運行範囲の見直し等を含んだ「美祢市地域公共交通再編実施計画」を策定		
	既存の公共バス路線の維持	通院や買物等の日常生活の移動、通学移動等のバス路線を維持・確保するとともに、市民のニーズに合った利便性の高い、公共交通体系を具体化するため「美祢市地域公共交通再編実施計画」を策定		
	沿線市と連携したJR美祢 線の利用促進	平成29年度～平成31年度事業計画に基づき、DC関連事業、旅行商品の造成等、観光軸を中心にした11項目23事業の利用促進に取り組む。		
	中心市街地活性化事業の 実施			
	中心市街地憩いの場の創 造	LED照明設置により中心市街地を明るくし、賑わい・活力の創出を図るため、中心市街地の街灯LED化整備(灯る街づくり事業)		

具体的施策	4-2-2 公共施設の適正化と地域コミュニティの拠点づくり			
内容	人口規模に合った適正化により、公共施設の使いやすさを見直すとともに、地域コミュニティの拠点づくりを行います。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H31)
	都市機能の整備に対する不満度	26.8% (H26)	—	18.0%
	地域ボランティアの団体数	100団体	94団体	120団体
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け 平成28年度に 取り組んだ 事業の概要	公共施設の適切な維持管理の実施	公共施設の将来のあり方の検討、更新費用の平準化、維持管理費の縮減を図るため、山口大学大学院創成科学研究科と調査・研究を重ね、公共施設あり方検討委員会における協議の末、全庁的な取り組み方針である公共施設等総合管理計画を策定		
	地域交流の場所の創出	地域のコミュニティ活動と生涯学習の拠点となる市内各公民館使用料を公平で公正な利用しやすい料金改定を実施し管理運営を行った。また、旧学校施設である鳳鳴地域交流センターを引き続き指定管理により管理を行い地域コミュニティの拠点づくりを実施		
	地域福祉活動の活性化	広報紙やホームページを活用した利活用が可能な公共施設情報や利用団体の具体的取組の紹介、ボランティアコーナーの充実、フリースペースや地域リビングの開拓を行うとともに新たな集いの場や繋がりづくりを目指したモデル事業を赤郷地区において実施		
平成29年度以降の 取組内容と その理由	公共施設の適切な維持管理の実施	固定資産台帳との整合性を図り、計画内容の充実化を図っていくための体制整備 将来のあり方の方向性を示す個別施設管理計画の策定に向けて、基本データとなる施設カルテの作成		
	地域交流の場所の創出	公民館を核としたコミュニティ活動と生涯学習を実施していくため、老朽化している施設の計画的な修繕等の維持管理を実施。また、鳳鳴地域交流センターにおいては、地域コミュニティの拠点であるため引き続き指定管理により管理を実施		
	地域福祉活動の活性化	より住民主体の活動を育成するような地域拠点となる活動団体間の連携を密にし既存拠点の利用促進を図る。		

具体的施策	4-2-3 高校・大学や企業等との連携と協働によるまちづくり			
内容	高校・大学や企業等と連携し、若者の地元定着に向けた取組を行うとともに、住みよいまちづくりやコミュニティ形成を図ります。			
重要業績評価指標 (KPI)	名称	現状値	平成28年度末値	目標値(H31)
	連携協定締結数	5協定 (H26)	5協定	10協定
重要業績評価指標 (KPI) 達成に向け 平成28年度に 取り組んだ 事業の概要	高校・大学、企業等と連携した、まちづくりの取組	・株式会社レノファ山口、イオングループと包括連携協定締結に向けて協議を実施。 ・秋吉台をはじめとする美祢市の教育、研究活動の拠点として、山口大学秋吉台アカデミックセンターが美祢市秋吉台科学博物館内に設置された。		
	シルバー世代のまちづくり参加への支援	老人クラブ連合会及び単位老人クラブに補助金を交付し、その活動を支援(老人クラブ育成事業)		
	市民団体・地域等が主導するまちづくり活動の支援	・Mine秋吉台ジオパーク活動応援事業により、11団体の活動に支援実施 ・地域力発揮まちづくり創生事業により、2市民団体の取組に対し支援実施		
平成29年度以降の 取組内容と その理由	高校・大学、企業等と連携した、まちづくりの取組	・株式会社レノファ山口、イオングループと包括連携協定締結を行う。 ・国立大学法人山口大学・美祢市連絡協議会を開催し、大学と連携した取り組みを実施していく。 ・今後協働によるまちづくりを推進し、連携協定の締結や連携協定に基づく事業の実施を目指していく。		
	シルバー世代のまちづくり参加への支援	老人クラブは、高齢者の生きがい・健康づくり活動を促進する組織として重要な位置を占めていることから、高齢者の更なる社会参加を推進するため、老人クラブ連合会及び単位老人クラブに補助金を交付し、その活動を支援		
	市民団体・地域等が主導するまちづくり活動の支援	地域力の維持及び活性化に繋がるよう、団体や地域等が実施する活動に対して支援		